

はまごう小だより

～あいがとうの花を咲かせよう!～

伊勢市立浜郷小学校
令和4年12月19日
発行者 平生 理恵

第18号

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果より

4月19日(火)に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。この調査は毎年中学3年生と小学6年生のみに行われているものです。一昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されませんでしたが、昨年度は国語と算数の学力調査と学習状況調査が行われました。今平成24年度から教科に関する調査に理科が追加され、3年に1度程度で実施され、今年度は昨年度の内容に加えて、理科の学力調査も行われました。



これらの調査の目的は、①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。③それらの取組を通して、教区に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。とされています。本校では全職員でその結果を共有し、子どもたちの学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することで成果と課題を検証し、改善に取り組んでいます。

6年生の子ども達には、個人の結果を渡させていただきますので、各ご家庭でもお話し合いいただくこともよいかと思います。

<学力について>

学力調査は、国語・算数・理科の3教科について行われました。本校の6年生は、平均正答率においては、理科は平均並みでしたが、国語では全国平均より2.4ポイント、算数においては3.8ポイント上回っていました。

<国語>については、全国の正答率と比較して、話すこと・聞くことの区分以外すべて上回っていました。しかし、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える問題や、互いの立場や意図を明確にしながら自分の考えをまとめる問題で課題が見られました。また、話し言葉と書き言葉との違いを理解する力を問う問題や、文章全体の構成や書き表し方などに着目して分や文章を整える問題に関しても、全国平均より低い数値となりました。今後の課題と具体的な改善策としては、条件を指定して書く問題の正答率が低いので、日常的な学習の中で「まとめ」や「ふりかえり」を書く際に、キーワードの指定、抜き出し、字数制限などの条件を指定して書かせたり、文章構成を考えて文章を書かせたり、また、意味調べなどの機会を充実させたりするなどの取組を強化しようと考えています。

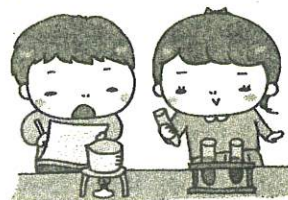


<算数>については、すべての領域で全国平均を上回っていました。領域別の中では「変化と関係」の正答率が一番低く、設問でいうと“割合を用いた計算問題”に課題が見られました。知識技能の定着はかなり高いと言えるので、これらの結果を踏まえた今後の取組としては、割合の概念や仕組みについての理解を深め、もう一度復習問題に取り組ませていくことが必要だと考えます。

$$\begin{array}{l} 2 \times 2 = 4 \\ 2 \times 3 = 6 \\ 2 \times 4 = 8 \end{array}$$

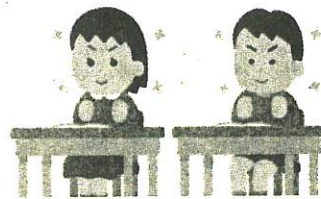


＜理科＞については、思考・判断・表現については全国の平均正答率を上回っていますが、知識・理解については下回っていました。今後の改善策としては、知識・理解についての正答率が低かったことから、基礎基本をしっかり押さえる学習に取り組む必要があると考えます。記述式の問題については正答率が高かったため、引きつづき今の学習方法を継続し、定着させていこうと思います。



＜学習状況について＞

児童質問紙により、子ども達の生活習慣や学習習慣及び学習意欲などを調査しました。その結果、基本的な生活習慣はしっかり身につけている児童が多いことがわかりました。また、学校に行くことを楽しみ、前向きに頑張っている児童も多く、習い事を含め勉強をする時間をしっかりととっています。しかし、将来の夢や目標を持てずにいる児童が多くみられ、テレビゲームや動画視聴をする時間が平均より大変長いという結果となりました。これらはコロナ禍での課題なのかも知れないが、今後学校でもゲームやSNSの扱い方やモラルについて正しく指導し、安易な使用について注意喚起を行っていく必要があると強く感じました。



子どもたちの生活習慣については、家庭、地域とも連携しながら、望ましい状態にしていくことが大切だと思います。今後ともより良い生活習慣や学習習慣の定着についてはご家庭での見守りや励ましをよろしくお願いいたします。

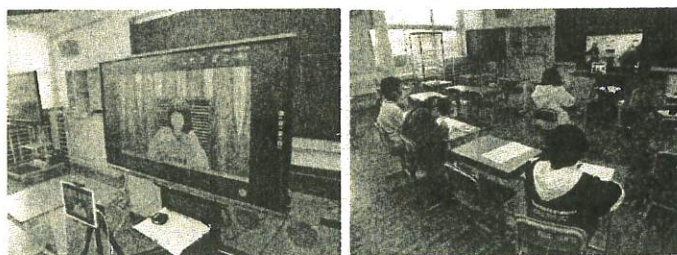


人権フォーラムに参加しました。

11月30日(水)、小学生による伊勢市人権フォーラムが開催されました。コロナウイルスの感染防止対策として、オンラインで行われました。



今回のフォーラムでは浜郷小学校と佐八小学校の6年生の作文が選ばれ、その作文の内容について伊勢市中の6年生が人権について考える場となりました。4人の6年生の児童が代表として人権フォーラムに参加し、作文の内容について思ったことや感じたことを発表しました。オンラインではありましたが、こうして大勢の人の前で、自分の思いを声に出してみんなに伝えるという経験は、今後の生き方に大きな影響を与えることだと思っています。おかしいと思うことや間違っていると思うことを、周りに流されることなく声に出していける人になってほしいです。



高学年部の人権集会を行いました。

12月4日～10日の1週間は人権週であり、12月5日(月)には高学年部が人権集会を行いました。今までの人権集会は、体育館に全校児童が集まって行っていましたが、コロナ対応をするようになってから、学年部(低・中・高学年)に分かれて人数を減らして行っています。人権集会では、それぞれの学年から一人ずつ選んで人権作文を読み、その内容についてみんなで話し合いを行います。学年部に分かれて行うようになったことで近い年齢の子が書いた作文だけに理解が深く、とても良い話し合いができます。今年の人権集会も、作文の内容を自分のこととして考え、書き手の思いに寄り添える素晴らしい集会となりました。それぞれの児童が、発言したことを言葉だけに終わるのでなく、行動に移せることを願っています。

